

# 会員サイト

3月30日

## <会員ポジション>

( ) は注文中・数字のみは建玉中・赤は決済済み

銘柄	限月	建玉日	建玉値段	売枚数	買枚数	終値	新規注文	ロスカット	利食目標	
金	1	2018/02	3/17	4450 円	1		4453 円		4460 円	
	2	2018/02	3/27	4445 円	1		4453 円		4460 円	
白金	1	2018/02	3/27	3445 円	1		3404 円		成り行き	
	2	2018/02								
コーン	1	2018/03			(1)		21710 円	21900 円以上	22060 円以上	
	2	2018/03								
ゴム	1	2017/08	3/23	252 円	1		247.1 円		256 円以上	220 円以下
	2	2017/09	3/29	241.5 円	1		244.0 円		251.5 円以上	

※この会員ポジションは、元本を保証しているものではありません。必ず、ご自身の判断でお願い致します。

## 世界のETF取組高

銘柄	3月17日時点	前日比	主な増減
金	1962.72	+0.85	NY減少・iシェアーズ増加、 EFTセキュリティーズ増加、
銀	19911.42	+60.81	iシェアーズ増加
白金	67.94	+0.27	NY増加
パラジウム	49.88	+0.67	アブサ・キャピタル増加

1トン単位

## 東京トウモロコシの需給・作付面積・四半期在庫予想（3月9日時点）

需給報告	事前予想	FCストーン	インフォーマ	前回
単収（）				
生産高（）				
期末在庫（3/9）	23億2000万Bu（3/9）	22億9500万Bu（3/3）		23億2000万Bu
四半期在庫（）				
作付面積（2/24）	9000万エーカー（2/24）	9080万エーカー（3/13）		9400万エーカー（前年）

# 東京金

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	4478 円	4452 円	4455 円	4375 円
移動平均線 (日足)	5 日	25 日	100 日	
	4449 円	4465 円	4375 円	
移動平均線 (週足)	5 週	25 週	100 週	
	4457 円	4357 円	4378 円	
RSI (14日)	53.5%	乖離率 (13日)	0.4%	乖離率 5% が 目安
RSI (14週)	57.4%	乖離率 (13週)	0.5%	

ブルーの印は上値抵抗。イエローは下値支持、グリーンはポイント。

## ボリンジャーバンド

$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$
4514 円	4488 円	4454 円	4425 円	4395 円

## CFTC 建玉明細 (~までの一週間)

日付	総取組高	買い	売り	買い - 売り
2/21	427,168	219,673	95,910	123,763
2/28	446,081	247,494	83,696	163,798
3/7	434,401	229,969	96,284	133,685
3/14	426,170	210,315	104,277	106,038
3/21	446,880	219,719	103,467	116,252
前週比	20,710	9,404	-810	10,214

コメント 本日の予想レンジ 4455 円~4465 円  
今週の予想レンジ 4455 円~4380 円

29日の金現物相場は小幅上昇し、週明け27日に付けた1カ月ぶり高値近くで推移している。英国の欧州連合（EU）離脱やフランス大統領選、トランプ米大統領の経済政策をめぐる不透明感が、安全資産としての買いを誘った。英国のメイ首相は29日、EU離脱を正式に通告。EUの結束を試す交渉が、今後数年間にわたり行われることになる。RJOフューチャーズ（シカゴ）の上級市場ストラテジスト、ボブ・ハーバーコーン氏は「金相場を現在の水準に押し上げているのは、政治的な不透明感だ。特に、仏大統領選に近い欧州情勢の影響が大きい」と指摘。「30日の（米国の）GDP（国内総生産）統計が出れば、より方向感がはっきりするだろう」と話した。ドル高が進み、金相場の上値を抑えた。米シカゴ連銀のエバンズ総裁が、年内1~2回の追加利上げを支持すると語ったのを受け、ドルは3日続伸している。ドル高は、ドル建ての金相場にとっては割高感につながるため、下押し材料となる。

昨日、金売りのロスカットが入りました。しかし、未だ売り狙いで対応します。本日、4470円以上で売り方針とします。市場は、強気になっておりますが、28日のNY市場で取組が20000枚以上減少したことから、NY市場におけるファンドの買いが止まったと考えております。ただし、米国の要人発言により、ドル円が110円を下値として堅調に推移していることが、調教市場を下げさせない要因ではありますが、本格的にトランプ米大統領の政策不安や、欧州の政局不安など緊張が走りますと、リスクヘッジの円買いが入ると予想、そのため東京市場は一気に下値を試すと考えております。本日のポイントは、4457円~4465円が上値抵抗と予想しておりますが、今は上抜けております。下値は4452円~4455円となっております。

## 東京白金

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	3562 円	3458 円	3634 円	3537 円
移動平均線 (日足)	5 日	25 日	100 日	
	3424 円	3533 円	3494 円	
移動平均線 (週足)	5 週	25 週	100 週	
	3482 円	3442 円	3616 円	
RSI (14 日)	33.6%	乖離率 (13 日)	-1.3%	乖離率 7% が 目安
RSI (14 週)	44.5%	乖離率 (13 週)	-4.1%	

## ボリンジャーバンド

$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$
3663 円	3601 円	3499 円	3417 円	3335 円

## CFTC 建玉明細 (~までの一週間)

日付	総取組高	買い	売り	買い - 売り
2/21	65,938	45,538	5,896	39,642
2/28	71,200	49,818	5,208	44,610
3/7	68,200	44,136	5,509	38,627
3/14	66,039	40,641	10,466	30,175
3/21	67,455	41,071	12,116	28,955
前週比	1,416	430	1,650	-1,220

コメント 本日の予想レンジ 3435 円~3410 円  
今週の予想レンジ 3490 円~3350 円

東京白金は、一旦売り玉撤退とします。昨日の 3400 円割れでいったん買い方の手仕舞いが出た模様。しかし、高値を買うだけのパワーはないため、方針的には押し目を買っていくのが良いでしょう。今回、イギリスの EU 離脱や、米国政策不安が材料として出ましたが、いずれにしても NY 市場は 950 ドルを維持しております。再三述べていますように NY 市場におけますファンドのポジションの偏りが、縮小したからだと考えております。ただし、東京市場は今だ買い玉を減らしておりません。それが、上値を抑える要因と考えます。本日のポイントは、3417 円~3424 円上値抵抗、この水準を上抜けると 3460 円前後までは戻ることでしょう。そうなりますと、徐々に 3400 円を下固めする可能性が出てきますので、次に売られたところから買っていきます。

# 東京トウモロコシ

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	22430 円	22010 円	22880 円	22050 円
移動平均線 (日足)	5 日	25 日	100 日	
	21640 円	22420 円	21710 円	
移動平均線 (週足)	5 週	25 週	100 週	
	22300 円	21450 円	22490 円	
RSI (14 日)	36.1%	乖離率 (13 日)	-1.3%	乖離率 5% が 目安
RSI (14 週)	50.7%	乖離率 (13 週)	-2.9%	

## ボリンジャーバンド

$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$
23490 円	22940 円	22370 円	21840 円	21260 円

## CFTC 建玉明細 (~までの一週間)

日付	総取組高	買い	売り	買い - 売り
2/21	1,501,027	455,721	282,783	172,938
2/28	1,361,513	436,548	242,101	194,447
3/7	1,373,407	447,243	248,353	198,890
3/14	1,376,269	400,781	287,976	112,805
3/21	1,417,628	409,141	345,492	63,649
前週比	41,359	8,360	57,516	-49,156

コメント 本日の予想レンジ 21930 円~21640 円  
今週の予想レンジ 22200 円~21000 円

小幅続伸。31日に発表される米農務省の作付け意向面積報告を控え、ショートカバーが入った。5月きりの清算値は0.75セント高の358.50セント。一時、360.75セントの高値を付けた。ロイター通信のアナリスト対象の調査によると、31日の作付け意向面積報告では、米国のトウモロコシ作付面積は前年を下回る一方、3月1日時点の在庫は前年同時点実績を上回ると見込まれている。一方、米エネルギー情報局(EIA)の統計によれば、トウモロコシ由来のエタノール供給はほぼ過去最高を記録。この統計は一時的なエタノール先物相場の圧迫要因になった。

東京トウモロコシは、売り場探しで臨みます。こんしゅうまつの作付け意向面積、四半期在庫の発表控えておりますが、いつも通り四半期在庫の数字に注目していきたいと思っております。そのように考えますと、市場は上方修正を予想しているだけに、売りを考えますのは発表後、若しくは来月初めの方が良いでしょう。上値ポイントは、21840円~22050円と予想しており、22000円以上は全て売り方針とします。

## 東京ゴム

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	263.4 円	252.7 円	315.6 円	301.2 円
移動平均線 (日足)	5 日	25 日	100 日	
	242.7 円	260.6 円	265.1 円	
移動平均線 (週足)	5 週	25 週	100 週	
	259.4 円	252.5 円	194.8 円	
RSI (14 日)	37.4%	乖離率 (13 日)	-2.9%	乖離率 10% ~ 15% が目安
RSI (14 週)	49.6%	乖離率 (13 週)	-12.2%	

コメント 本日の予想レンジ 252.7 円~247.8 円  
今週の予想レンジ 250 円~230 円

ゴムは、上海市場で反発したことから、250 円台まで買われましたが、ロスカットは上記の通りになります。特別材料があつての話ではありませんが、売られすぎ出のリバンドと考えております。本日のレンジは 252.7 円~247.8 円ですが、上値の目安で考えますと、260 円前後と予想します。いずれ、220 円をうかがう展開をイメージしております。

## ボリンジャーバンド

$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$
282.0 円	271.1 円	258.8 円	247.8 円	235.6 円